

第五回土木講習會雜記

本會の年中行事なる土木講習會は、各方面の御援助を得、二月廿四日より第五回目を於「協和會館」開催致しました處、工事閑散の時期とはゆへ、零下三〇餘度の酷寒をも顧ず全滿及北支、蒙疆兩政府の土木關係者四百拾餘名の出席者を得て餘期以上の盛會を呈しました。

講演内容は、別紙「プログラム」の通りで初日（二十四日）交通部技監坂田會長の開會の辭を皮切に、二十七日には全講習科目を終り終了式後於「國都飯店」講師並授講者の合同懇親會を催しましたが、さすがは新東亞建設の大業達成に邁進せられる人ばかりで元氣發刺たるものがあつて時の過ると共に會は愈々酬となり、各

代表の餘興がはじまり先づ、北支代表として立神講師「佐渡をけさ」を演じて人氣を拍すれば寺師直轄工事科長が北支に引けは取らじと演ぜられた、特意中の特意とされる「猿蟹會戰」は萬場を壓倒するの感あり。最後に町田道路司長の音頭にて萬歳三唱をなし有意義に會を終る。二十八日は二五〇名の希望者による吉林大同洋灰、水力電氣ダムの見學をなし、こゝに無事本講習會を終了致しました。

本年は會場等の都合で出席者諸氏に多々御迷惑を掛けました事を御詫致すと共に今後益々諸氏の御援助を御願ひ致します。

H 生

第五回土木講習會「プログラム」

第一日 一月二十四日（水）

開會之挨拶

會 長 坂 田 昌 亮

祝 辭

交通部大臣 李 紹 庚

産業部大臣 呂 榮 寰

新京副市長 關 屋 佛 藏

滿洲に於ける堰堤の設計並びに施工法

水力電氣建設局 山 本 將 雄

河川の計畫流量決定に就て

交 通 部 照 井 隆 三 郎

第二日 一月二十五日（木）

國土計畫

總 務 廳 歲 川 滿 雄

哈大道路計畫に就て

交 通 部 寺 師 虎 之 助

航空寫眞測量に就て

・ 寫 眞 處 片 岡 健 次 郎

南滿運河計畫

交 通 部 米 田 正 文

滿洲の都邑と防空計畫に就て

交 通 部 佐 藤 九 郎

第三日 一月二十六日（金）

現場コンクリート試験に就て

日本ポルトランド
セメント同業會 中 村 猪 市

水底隊道に就て

内 務 省 加 藤 伴 藏

絡東江改修計畫に就て

朝鮮總督村 福 光 昂

鐵筋コンクリート橋梁に於ける新しき傾向

交 通 部 瀨 戸 政 章

北支の土木事業に就て

建設總署 立 神 弘 洋
小 澤 久 太 郎

第四日 一月二十七日(土)

日本に於ける河水統制事業の現況

内 務 省 水 谷 鏘

河西橋に就て

北海道土木廳 横 道 英 雄

寒地に於ける道路舗装

關門土木工 中 島 時 雄
程 處

飛行場計畫に就て

交 通 部 羽 中 田 參 次

閉會之辭

會 長 坂 田 昌 亮

終了證書授與式

懇 親 會 於 國 都 飯 店

第五日 二十八日(日)

見 學 吉 林 水 電 グ ム、大 同 洋 灰

會 報

◎二月十四日午後四時三十分「於中銀クラブ」

理事、幹事會を開き次ぎの事項を協議す。

- 一、康徳六年度收支決算報告
 - 一、康徳七年度豫算方針
 - 一、第五回土木講習會收支決算
 - 一、座談會に關する件
 - 一、滿洲學術聯盟講演者選定の件
 - 一、「建設」三、四月號編輯の件
- 出席者氏名下記の通り

町田、沼田理事

米田、照井、中田、伊藤、佐藤、高野、
伊藤(貞)、瀬戸幹事
濱、木村、原編輯委員

◎二月十六日午後五時於「中銀クラブ」滿洲拓植

公社土木課長加藤久男氏に御願ひ致し、「滿
洲事業開拓と土木」と題する講演と映畫を開
催し、四拾餘名の出席者あり午後七時閉會す

會員諸氏へ御願ひ

◆轉居、轉任等なされた場合は必ず其の都度御通知下さい。會員名簿の訂正、會誌の發送
其他通信事務會務整理上特に御願ひ致します。

◆機關誌建設原稿募集

論說、研究、資料、隨筆

寫眞……工事寫眞(撮影月日及簡單なる説明を附すること)

以上各種共掲載のものに對しては感謝を呈します。新京交通部道路司内滿洲土木研究會編
輯部宛御送附下さい。